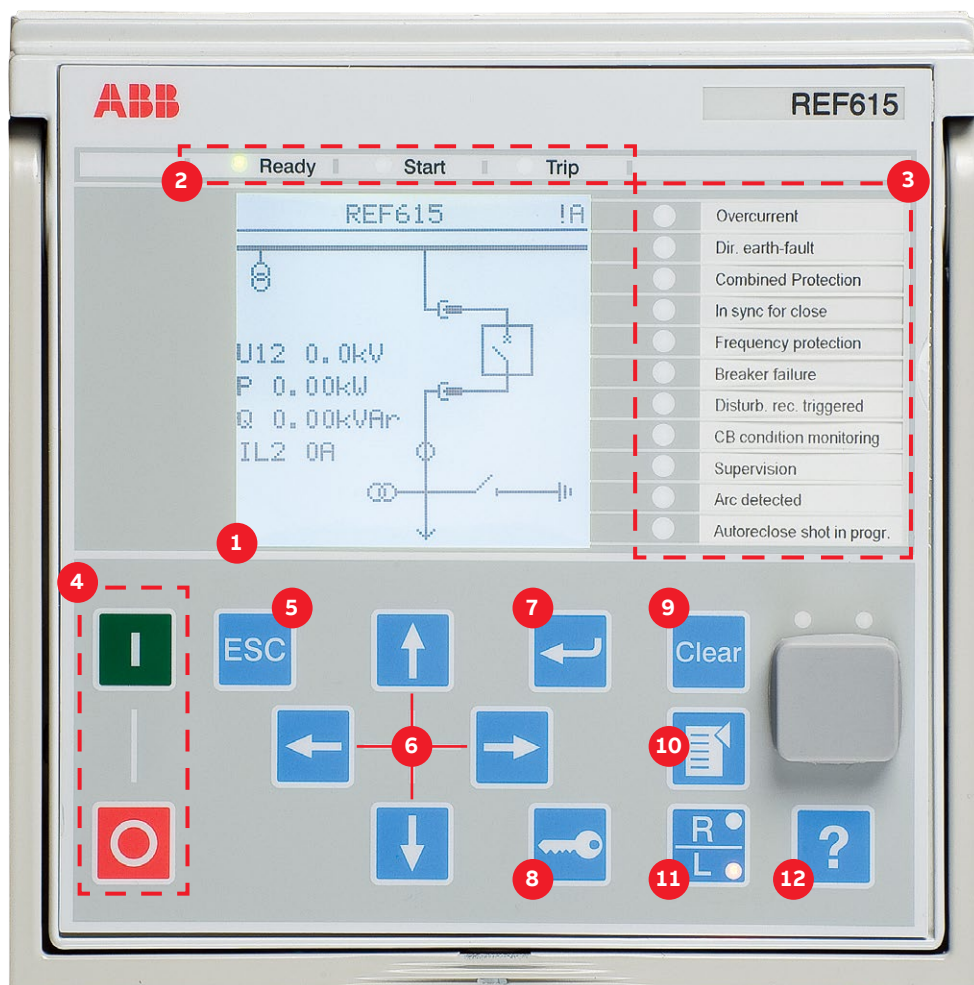


# クイックスタートガイド

## Relion® 615シリーズ













1	ディスプレイ	単線結線図(SLD)、計測、イベントから初期画面を選択できます。
2	自己監視と保護状態表示用LED	Ready-LED: 点灯-通常運転、点滅-継電器の内部故障 Start-LED: 点灯-保護機能動作中、点滅-保護機能ブロック中 Trip-LED: トリップ状態
3	プログラム可能なLED	点灯、点滅を用いて警報や表示用にプログラムできます。
4	遮断器、断路器の制御	開閉ボタンを押し、エンターキーを押すことで確定します。制御対象機器が複数ある場合は先にナビゲーションボタンから制御機器を選択します。機器制御はローカルモードでのみ使用できます。
5	キャンセル	設定のキャンセルや、設定画面から値を保存せずに離れる場合に使用します。メニュー画面に戻ります。
6	ナビゲーション	左矢印: 一つ前の階層に戻る、右矢印: 選択したページに進む、上下矢印: 上下へのスクロールまた、単線結線図内の遮断器や断路器などの機器の選択にも使用します。
7	エンター	各値の設定やその確定に使用します。
8	認証	認証機能を使用する場合、このボタンからログイン、ログアウトを行います。
9	クリア	イベントや表示の消去に使用します。詳細は次のページをご覧ください。
10	メニュー	メインメニュー、単線結線図、計測の画面切替に使用します。
11	ローカル/リモート	ローカル操作、リモート操作の切替に使用します。
12	ヘルプ	ヘルプメッセージを表示します。

# ローカルHMIの使用

## メインメニューへのアクセスとパラメータの変更



を押すとメインメニュー、計測、単線結線図を選択できます。

を押し、変更する設定を選びます。で変更する項目を決定し、、を使い、値を変更します。を押し、変更を確定します。その後、変更した値を保存することでパラメータの変更は完了です。

変更する設定に“#”マークがついている場合、まず設定グループの選択をする必要があります。“#”マークがない場合は直接変更するを選択し、、、、、を使い、変更できます。

すべてのパラメータの変更は同様に行うことができます。また、使用頻度の多いファンクションブロックは本ガイドの終わりに記載します。

## 設定の保存

パラメータの変更後は変更を保存する必要があります。やを押し、メインメニューに戻ります。その際、設定変更の保存に関する質問に“Yes”を選択することで設定が保存されます。設定変更により再起動が必要な場合は次の手順で行います。**Menu → Configuration → General → Software reset** または、補助電源をオフし、再度オンします。

## 過電流動作値の変更

**Menu → Settings → Settings → select setting group, default 1** を選択し、で決定 → **Current Protection → PHLPTOC1 → Start value**

## ファンクションブロックの表示形式の変更

初期設定はIEC61850に基づくファンクションブロックの表示形式です。下記手順でIEC60617やANSIに基づく表示形式に変更ができます。

**Menu → Configuration → HMI → FB Naming convention**




## バイナリインプットの確認

**Menu → Monitoring → I/O Status → Binary input values → select correct BIO card**

## 故障記録の確認







**Menu → Monitoring → Recorded data → Fault record**

## ディスプレイの濃淡調整

を押しながらとでディスプレイの濃淡を調整します。調整したコントラストを保存する場合はメニューから初期画面に戻り、その後画面上部に“A”(Administrator)が表れればコントラストの保存が完了です。ログインが必要となる場合はログイン後にコントラストの調整をしてください。

## イベント、表示の消去

イベントや表示の消去方法には下記の2つの方法があります。

- を押す、またはメインメニューから **Clear** を選択することでクリアメニューを表示できます。削除する項目を選択し → を押します。次にで“Clear”を選択し、再度を押します。
- を3秒間長押しすることで表示用LED (②)を消すことができます。その後さらに3秒間長押しすることで右部LED(③)の点灯をクリアできます。

## IEDの各種情報の確認

ご使用機器のオーダーコード、シリアル番号、HW、ソフトウェアのバージョンは次の手順で確認できます。

**Menu → Information → Product Identifiers**

## ディスプレイ上部

ディスプレイ右上のアイコンは下記の意味を持ちます。

**S**:パラメータを保存中、**!**:警報または表示

**V** = Viewer, **O** = Operator, **E** = Engineer, **A** = Administrator

## I/Oステータス



I/Oステータスは次の手順で確認できます。

**Menu → Monitoring → I/O status**

ここではファンクションブロックの入出力データを確認できます。ファンクションブロックに関する詳細な情報は“**Monitored data**”から得ることができます。入出力状態、通信監視なども確認可能です。

## 言語の変更

**Menu → Language**

または  と  を押すことで言語を変更できます。

初期設定の言語は英語です。英語以外に最大で2つの言語をIEDに入れることができます。

## 初期画面の変更

**Menu → Configuration → HMI → Default View**

## 内部故障の確認

**Menu → Monitoring → IED Status → Self-supervision**

## 工場出荷時設定の再設定

工場出荷時の設定に戻す場合は下記の手順で行います。但し、通常運転時に突然設定を変更することでトリップが発生する場合があります。注意してください。

**Menu → Configuration → General → Factory Setting Using the local HMI**

[abb.com/relion](http://abb.com/relion) からさらに詳細な製品マニュアルなどが入手できます。

# ファンクションブロック

ここでは使用頻度の高いファンクションブロックリストを記載します。  
使用可能なファンクションブロックはIED、設定により決まります。  
また、ここではインスタンス番号が最初のもののみを記載しています。

IEC 61850	IEC 60617	ANSI
ARCSARC1	ARC (1)	50L/50NL (1)
CBXCBR1	I < → O CB	I < → O CB
CCBRBRF1	3I>/Io>BF	51BF/51NBF
CCRDIF	MCS 3I	MCS 3I
DARREC1	O → I	79
DCSXSUI1	I < → O DC (1)	I < → O DC (1)
DEFHPDEF1	Io>> →	67N-2
DEFLPDEF1	Io> → (1)	67N-1 (1)
DPHHPDOC1	3I>> →	67-2
DPHLPDOC1	3I> → (1)	67-1 (1)
DPHLPDOC1	Io>> (1)	51N-2 (1)
EFIPTOC1	Io>>>	50N/51N
EFLPTOC1	Io> (1)	51N-1 (1)
ESMGAPC1	ESTART	ESTART
ESSXSUI1	I < → O ES	I < → O ES
FRPFRQ1	f>/f<,df/dt (1)	81 (1)
HREFPDIF1	dIoHi>	87NH
INRPHAR1	3I2f>	68
INTRPTEF1	Io> → IEF	67NIEF
JAMPTOC1	Ist>	51LR
LNPLDF1	3dI>L	87L
LOFLPTUC1	3I<	37
LREFPNDF1	dIoLo>	87NL
LSHDPFRQ1	UFLS/R	81LSH
MPTTR1	3Ith>M	49M
NSPTOC1	I2> (1)	46 (1)
NSPTOV1	U2> (1)	47O- (1)
OLATCC1	COLTC	90V
PDNSPTOC1	I2/I1>	46PD
PHHPTOC1	3I>> (1)	51P-2 (1)
PHIPTOC1	3I>>> (1)	50P/51P (1)
PHLPTOC1	3I> (1)	51P-1 (1)
PHPTOV1	3U> (1)	59 (1)
PHPTUV1	3U< (1)	27 (1)
PREVPTOC1	I2>>	46R
PSPTUV1	U1< (1)	47U+ (1)
ROVPTOV1	Uo> (1)	59G (1)
SECRSYN	SYNC	25
SEQRFUF1	FUSEF	60
SSCBR1	CBCM	CBCM
STTPMSU1	Is2t n<	49, 66, 48, 51LR
T1PTTR1	3Ith>F	49F
TCSSCBR1	TCS (1)	TCM (1)
TPOSSLTC1	TPOSM	84M
TR2PTDF1	3dI>T	87T
TRPPTRC1	Master Trip (1)	94/86 (1)

---

詳細は下記までお問い合わせください

**ABB Distribution Solutions**

P.O. Box 699

FI-65101 Vaasa, Finland

Phone: + 358 10 22 11

**[abb.com/substationautomation](http://abb.com/substationautomation)**

---

We reserve the right to make technical changes or modify the contents of this document without prior notice. With regard to purchase orders, the agreed particulars shall prevail. ABB does not accept any responsibility whatsoever for potential errors or possible lack of information in this document.

We reserve all rights in this document and in the subject matter and illustrations contained therein. Any reproduction, disclosure to third parties or utilization of its contents – in whole or in parts – is forbidden without prior written consent of ABB.  
Copyright© 2019 ABB. All rights reserved.